

上州の山

小野澤繁雄

イチジクは始末もなしにのびるもの実に袋までしているその家
ベンチにはすわり跡あるみちの先樹下のベンチの端が光って
縦列になってみち渡る少女らについて渡ればかすか香はする
幼児がからだいっばいにゲップする返りみすれば通園のみち

乗りついでつどに隣は眠る人若き男は重き肩よす

自転車は年よりに多く花の東前かごにみる今日彼岸入り

じぶんらを数でかぞえしことなきや四方にバラけゆく水鳥ら

あるかなきかの縁先から雨戸繰る人がいて住む小貸家ある

バリカンの皮剥ぐほどのひっかかりよくみし痕を車内にみたる

つながりにならぬ山みる取り分けて子持山みる上州の山